

2018・小学校中学年「レイナが島にやってきた！」

□主人公の優愛とレイナは小学4年生。きれいな海にかこまれた南の島に住んでいます。

□私の住んでいるところが / おばあちゃんちが〇〇〇〇〇なので、優愛やレイナが住んでいる島の様子が、
とてもよく似ていると / 少しだけわかる / 全然ちがうなと / うらやましいなと / 行ってみたいなと 思いました。

□優愛は、
なところが
共感できました。 / 好きになりました。 / 仲よくなれそうだと / 自分に似ているなと 思いました。

□でも、
なところが似ていません。 / 私と違うなと 思いました。

□レイナは、最初は
なところが
おどろきました。 / へんな子だなと 思いました。 / 好きになれません。 / 友達にはなれないと 思いました。

□でも、
ということを知って、
と思うようになりました。

□私が優愛なら、どんなふうにレイナと仲よくなれるか / お互いのことを知ることができるか / 友達になれるか
考えてみました。私なら
するだろう / できないだろう と 思いました。 / 考えました。

□レイナは本当のお母さんでない人とくらすのだから、(レイナの早おき / そうじ / せんたく)
をして
いい子だと思って / 好きになって / 気に入って / 仲よくなってもらいたい と 考えた / 思ったのだと 思います。

□レイナの
という行動 / 言葉 / 態度も
ではないかと 考えました。

□レイナにくらべて、私は いい子だと思って / 好きになって / 気に入って / 仲よくなっ て もらいたいと、
お手伝いをいっしょうけんめい したことがありません / たまにしかしていません / しようと考えていません。
それは私が
だからではないかと 思いました。 / 考えました。

□小学4年生のレイナがそこまで考えるのは、
と 思いました。

□この物語を読んで、最初は おどろいた / へんな子だなと 思った / 好きになれなかった / 友達にはなれないと
思った。レイナにも、
というところを感じて
ではないかと 思いました。

私はレイナのつくった
の話を知りたいです。